

**(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事**

**掲載コンテンツ**：リレーコラム

**掲載時期** 平成 25 年 2 月

**テーマ** 住み良い貴崎をめざして

**寄稿者** 貴崎みんなの広場「よっといで」

**◎念願の常設の居場所がスタート**

平成 20 年 2 月、県民交流広場事業として、明石市の水防倉庫の一部を開放してもらって「食」と「本」を通じた地域交流を目指す、貴崎みんなの広場「よっといで」がスタートしました。当地域には 10 の自治会があり、自治会の枠を越えた交流は、まちづくり協議会やスポーツクラブ 21 が主催する大きなイベント（夏祭り・餅つき・ハイキング・潮干狩りなど）に限られていました。

そこで、日常的に子どもも大人も自由に過ごせる居場所がほしいと思い、また地域ボランティアグループ「きさきりんどうの会」も活動拠点を探しているところでした。このような要望がある中、県民交流広場事業に取り組むことになったのです。

施設は、75 平方メートルのプレハブ平屋建てでしたが、地域に寄付を募り、2 年後に 35 平方メートル拡張して現在は 111 平方メートルの広さになっています。キッチン部分と図書室部分があり、二部屋に仕切れることもできます。図書室部分では、明石市の子ども基金からの助成金により「こども夢文庫貴崎」として運営しています。絵本、紙芝居、児童書、文庫本などがあります。

明石市では、各小学校に設置されているコミュニティセンターと県民交流広場事業を連動させているので、「よっといで」の運営や活動に市の職員にも加わってもらって、助かっています。

**◎活動のポイント**

- 1 子どもを地域で育てる
- 2 高齢者の地域での見守り
- 3 食と本を通じた世代間の地域交流

## ◎活動（使用）内容

### ○「よっといで」の事業

- ・みんなの居場所として無料開放 月・水・金の10:00～16:00  
自由に本を読んだり、お茶を飲んだり、おしゃべりしたり…
- ・英語であそぼう、読み聞かせの会、映画会
- ・折り紙教室、手づくりカフェ、太極拳
- ・料理教室（子ども料理、男の料理、魚料理等）
- ・手作り品バザー、地産野菜販売
- ・記念イベント（赤ちょうちん納涼大会など）

### ○「きさきりんどうの会」の事業

- ・ミニケアサロン（給食サービス業）
- ・ぷーさんファミリー（まちの子育て広場）
- ・ふれあい会食（高齢者の食事会）

### ○地域の各種団体の会議など

## ◎今後の課題

- ・ボランティアスタッフの拡充
- ・持続的な運営のための資金づくりと魅力的な事業の計画

今年からは畑を借りて菜園ボランティアによる、野菜づくりを始めます。

毎月、運営委員会、ボランティア会議を開いて、話し合いながら運営を続けてきましたが、まだまだ地域全体のものにはなっていないように思います。

“まちづくりはひとづくり、人とのふれあいを大切に―”を胸に、あいさつと笑顔が飛び交う町をめざして、歩み続けたいと思います。